3学年だより

阿賀町立阿賀津川中学校　第３学年だより　平成２５年５月１０日（金）　第７号

53人の修学旅行、楽しかったね！

「H25阿賀津川中学校修学旅行～53人の仲間と最高の修学旅行を～」

修学旅行が終わりました。３日間の思い出を胸に昨日の９：３０過ぎに学校に到着しました。１日目の法隆寺から始まり、３日目のユニバーサルスタジオジャパンまで、様々な出来事がありました。そのどれもが思い出です。細かなことはたくさんありましたが、とにかく５３人が参加し、５３人無事に帰ってきました。最大の目標は達成することができました。これが一番嬉しいことです。今日からまた通常の学校生活が始まりました。次は郡市大会！　しっかりと先を見据えて頑張っていきましょう！

修学旅行記

1日目（5月7日（火））

いよいよ今日から修学旅行だ。GW明けの出発は真庭も初めての経験だ。事前指導を行ってからもう５日もたっている。集合時間に全員揃うのだろうか、その前に全員が参加することができるのだろうか…。前日の夜、そんなことを考えながら少し早目に寝た。朝もまだ暗いうちに自宅を出発したのだが、車の中ではそんな心配だらけだった。

４：３０学校到着。阿賀町の気温は相当低い。学校には一番乗りだった。５：００前には引率の先生方がそろう。添乗員のピチピチ田辺さんも５：００に学校到着。あとは３年生を待つだけだった。

５：１０を過ぎると３年生が登校し始める。玄関に出てみると、多くの３年生が寒い中玄関に集まっていた。送ってくれた保護者のみなさんも見送りのため残ってくれている。きっと我が子のために我が子より早く起き、我が子を起こし、仕事もあるだろうに我が子を学校まで送ってくれたのだろう。３年生はそのことを当たり前だと思わずに感謝しなければいけない。それを伝えるのは我々の仕事なのだろう。親というのは本当に無償の愛だなと感じた。

心配していた生徒の顔も確認できた。これで５３人での出発ができるなと思い、班長の点呼の報告を受けていたら、予想外のNちゃんがいないとのこと。教務室で電話番をしていた菅原先生も欠席の連絡は来ていないと言うし、心配になって小田先生に自宅に連絡を取るようお願いしたとき、Nちゃんを乗せた車が校門に到着した。これで５３人揃った。真庭の中ではこの時点で修学旅行の７５％は成功したという感じだった。

友田さんの運転するバスに乗り込み、教頭先生たちの見送りを受けて出発する。前学年主任の杉崎隆先生も見送りに来てくださった。転勤しても君たちを愛し続けてくれる先生がいる。ありがたいことである。

バスは順調に新潟空港に到着した。空港には小林先生が見送りに来てくれていた。今回は大荷物を事前に送っていなかったので、まずはそれを預けなければいけない。ここで誤算が起きた。愛宕中学校がいたのだ。荷物を預ける中学生が２つの学校で１３０人以上いる。思ったより時間がかかった。セキュリティチェックを無事に終え、搭乗口に全員集合するかしないかのうちに搭乗時間となり、飛行機に搭乗した。飛び立つときにはお決まりの「おぉー！」という声が上がる。田舎者丸出しだ。しかし、今回は愛宕中の生徒も「おぉー！」と言っていたので、みんなそうなんだなと安心する。飛行機の中でも大変元気な３年生だ。乗り物酔いする人もいない。頼もしい人たちである。

法隆寺ではクラスごとに写真を撮った。以前の学年だよりで「自分たちで並べない」ということを書いたが、今回はそれに比べたら成長した。特に学級委員が成長してきた。自分から声を出すという場面が出てくるようになった。やはり言えばできるようになる人達なんだなと思った。この他にも東大寺、大阪城で写真を撮ったが、やはり自分たちで声を出していた。リーダーは育っている。あとはフォロアーがもっと成長してくれるといいなと感じている。

奈良公園散策では、全ての班が集合時間に遅れることなく集合した。出発には手間取ったものの、班で動くときには時間がきちんと守れた３日間であった。

奈良公園には他県から来た中学生もいた。スカートの短い女子と、ちょっとやんちゃな（添乗員さんの臼井さんは「野蛮な」と言っていたが）男子の集団だ。鹿と戯れながら「キャー」という奇声を発していた。他の人のことも考えずに奇声を発する人というのは真庭からしてみればやはりおかしなことである。奇声が発せられるたびにそちらを見て、阿賀津川中学生ではないことを確認して安心する。それにしても人が少なかった。あんなにバスのいない奈良公園駐車場を見たのは初めてだ。GW明けの出発も悪くないのだなと感じた。

奈良公園での散策を終え、バスに乗り込み京都に移動した。清水寺の駐車場に着くと、やはりバスは少なかった。徒歩で清水順正に移動して夕食をすます。早朝から活動しているにもかかわらず、食欲の落ちている生徒はいないようだ。安心しながら見ていた。

そしていよいよ１日目の最後の活動となる座禅体験へ。夜の建仁寺は雰囲気がある。さらにバスガイドさんからは「境内に入ったらしゃべらない。騒がしいと座禅の時間が長くなる。」と脅されていたので、シーンと５３人が歩き続けた。双龍図のある法堂を見学したあと、いよいよ座禅体験だ。和尚さんから説明を受けたあと座禅の時間が始まった。いきなりＲくんとＲくんが警策でパシッパシッと叩かれた。後で聞いてみると、どうやら静かな雰囲気の中で笑ってしまったようだ。大変恥ずかしいことである。その後は自分から希望して叩かれた猪俣先生をはじめ、数人が叩かれていた。緊張感があり、大変良い１５分間だった。そのあとの別の和尚さんのお話もよかった。「忙」…忙しい、忙しいと言っている人は心が亡くなっている、などわかりやすい話から始まり、座禅は煩悩で汚れた心のクリーニングなのだということも教えてくれた。終わったあとには、「大変良い学校ですね。」というお言葉も頂いた。

長い１日目の活動を終えて、ホテル京阪京都へ。班長・室長・実行委員会議では厳しいことを伝えた。まずは学習する気がないこと。１日目を通して、メモをとるということがほとんど見られなかった。しおりにはメモをするページが作られている。人間の脳みそというのはどんどん情報を書き換えていくので、古いことは記憶からなくなってしまう。学習をしに来たのではないか、という話から始まり、挨拶のことまで細かく話をした。観光旅行ではなく、修学旅行なのだということをこの夜にわかってほしかった。班長・室長からも反省点が出たが、まだまだ視野が狭い。悪いことばかり出てきて、自分たちの良いところはなかなか出てこない。これは先生方のミーティングでも同じだった。もっと自分たちの良いところを見つけて、次につなげていくということも大切な作業である。会議の最後には１日目の良いところを真庭から伝えて締めくくった。

就寝準備に入る前に自分の部屋に戻ったら猪俣先生から内線が入った。どうやらＫくんが部屋に飾ってあった絵を落とし、ガラスを割ってしまったようだ。部屋に行ってみると同じ部屋のＡくんとＳくんも神妙な顔で立っていた。担任の小田先生からはもう指導を受けたようであった。３人の神妙な顔を見た瞬間、「あぁ、もうわかっているな」と思い、話をして終わることにした。実際この３人は残りの２日間しっかりと行動をしてくれた。失敗を繰り返さないことの大切さをこの３人から学ばせてもらった。

明日はいよいよ班別自主研修だ。天気も良さそうである。初めての町で迷いながら、たくさん学んでほしいなと思いながら床に入った。

2日目（5月8日（水））

２日目、いよいよ班別自主研修の日がやってきた。３年生の起床は早い。夕べの寝付きはあまり早くなかったようだが、気が張っているのだろう。モーニングコールの電話に驚いて起きた部屋もあったようだ。

２Ｆ桜の間で全員そろっての朝食をとる。この３日間食欲が落ちるということはなかったみたいだ。健康観察の指揮をとる養護教諭の勝見先生も「疲れていると訴える子はいますが、大丈夫

なようです。」といつもまめに報告をしてくれる。勝見先生は転勤してこられたばかりなのに、３年生の健康状態、服薬の有無などをしっかりと把握し、３年生に声をかけ続けてくれていた。Ｏ型にしては大変細かい方である。

８：２０にツアーデスク前に集合し、携帯電話、デジタルカメラを受け取りいよいよ出発である。各班エスカレーターを降りて京都の町に出て行く。天気は快晴。絶好の研修日和だ。真庭も本部待機ではあるが、スタートを確認しに下へ降りていった。すると東本願寺に行くはずの５班がまったく逆方向に進んでいったという報告が入る。慌てて電話をして、京都駅に呼び戻す。ホテル目の前のバス停では東寺にバスで向かうはずの班が戻ってくる。一緒に菅原先生も困っていた。バス停を教え、バスに乗るところを確認してホテルに戻る。

一段落したところで、本部待機に入る。パソコンで各班の現在地を確認しながら電話が鳴るのを待つ。何かあったら本部のレンタル携帯に電話が来ることになっているのだが……鳴らない。１２：００に定時連絡がようやく入る。困っているのだろうなと思い、ワクワクしながら電話に出るが、「これからお昼を食べます。」「みんな元気です。」と順調報告のみ。ちょっと拍子抜けしながら、全ての班の報告を受けた。他にも入る電話は「時間がずれてしまったので、次の見学地に向かいます。」「昼食場所が混んでいるので、店を変更します。」など班で相談して決定した事項を報告して来るのみ。手持ちぶさたになり、コンビニにお昼を買いに行こうとしたら、部屋に鍵を入れっぱなしで出かけてしまった。フロントに行って鍵を開けてもらい部屋に入った。前日の夜、鍵を入れっぱなしで閉めてしまったというＭさんとＭさんに「バカだなぁ」と声をかけたことを思い出した。ちょっと恥ずかしくなった。

午後は１６：００の定時連絡までまったく連絡が来なかった。あまりに退屈だったので、東本願寺まで歩いていくことにした。道中何人かの修学旅行生とすれ違う。それにしても暑い。この気温の中、阿賀津川中の３年生も歩いているのだなと思い、心の中で「頑張れ、頑張れ」と繰り返した。東本願寺の御影堂で１５分ほどボーッとし、ホテルに戻った。

ホテルのツアーデスクにパソコンを移し、３年生の帰りを待つ。真っ先に戻って来たのは朝東本願寺への道を間違えて逆方向に進んで行った５班だ。なんでも北野天満宮に最後に行くつもりが、バスに乗ったら京都駅に着いてしまったそうだ。「お疲れ様」と声をかけ、部屋に戻させる。そこからは続々と帰ってきた。どっぷりと疲れた様子の３年生を見ると、頑張ってきたのだなと思う。

部屋で休憩をとって、１８：００からの夕食に合わせて部屋から降りてくる。ここから３年生に少しずつ変化が表れたような気がする。ここまでは正直実行委員もその他の生徒も、言われてから動いていた感じだった。必ず先生達の言葉が先に出ていたが、このとき実行委員長のＨくんが「先生、Ｂ隊形で並べましょうか？」と聞いてきた。「それでお願いします。」と答え、夕食会場が開くまで整然と待機をした。修学旅行はこれだから楽しい。３年生が変わっていくのだ。いただきますの号令もここまでは「Ｋくん、お願いします」と言わなければ出てきてくれなかったのだが、この日からは、「先生、もういいですか？」と先回りをして聞いてくる。２組の女子は、何も言わなくても自分たちが食べたお皿を重ねて、片付ける人が片付けやすいようにしている。

食事が終わり、班別自主研修学習会に入る。臼井さんからは「こんなにきちんとやる学校は他にないですよ。」とのお言葉をいただく。中にいると慣れてしまってわからないが、外から見ると、君たちはなかなかすばらしい中学生のようである。自信を持って、もっとどんどん積極的に活動に取り組んでもらいたい。

班長・室長・実行委員会議もスムーズに進む。真庭からは特に何もない。５３人が１２の班に分かれ、それぞれが見学箇所を周り、無事に帰ってきてくれたことで十分である。あとから言いたいことは山のように出てくるが、今はそれでいい。よく帰ってきたね、それだけである。しかし、覚えていてほしい。君たちの自主研修の裏では、先生方がいつでも対応できるように君たちの班の近くを回ってくれていたのだ。猪俣先生、小田先生、菅原先生、勝見先生、そして校長先生がいつ何があってもいいように君たちの計画を見ながら動いてくれていた。その日ぼんやりしていたのは真庭だけである。

就寝は１日目より早かったような気がする。疲れたのだろう。内線電話のいたずら電話が来ましたといくつかの部屋から報告があがる。犯人らしき人の部屋に行き、声をかけるとそれ以降はなくなった。そんなことをしているより早く寝てほしい。今日の疲れは早く寝ることで回復する。明日は大阪城とＵＳＪである。目一杯楽しんでほしい。

3日目（5月9日（木））

朝は６：００に目が覚めない生徒もいたようだ。起床確認のため部屋に入っていっても起きない。生徒会長のＴくんには寝起きどっきりを仕掛けた。しかし、起きてしまえば時間に合わせて動こうと努力をする。これが阿賀津川中学校のいいところだ。今日はバス移動である。

最後の全体見学地、大阪城。城だけを見るとそんなに大きくないがお堀と石垣も含めて考えると相当大きい。さすが、天下の太閤さんが建てた城である。人は多かった。天守閣は相当人口密度が高かったと思う。

そしていよいよＵＳＪである。非現実の世界へと飛び込んでいった３年生は、相当楽しんできたようだ。真庭もＩくんと本部待機をしていたのだが、途中で１周だけ回ってみた。何人かの３年生と出会ったが、みんないい顔をしていた。サングラスと帽子を買ってかぶって回っていた男子たち、ハートのシールをほっぺに貼って歩いていた女子。甘ったるい臭いのポップコーンも食べていたね。みんな日頃学校生活を頑張ってきた君たちへのご褒美なのだよ。頑張るといいことがあるので、この先の人生も頑張ってほしい。

楽しかったＵＳＪをあとにして、新潟に帰る行程に入る。バスの運転手さんの配慮で阪神甲子園球場の横を通ってから伊丹空港に向かうことになる。予定外の兵庫県に入った。これで君たちは関西４県を制覇した。伊丹空港でかわいらしい空弁（そらべん）をもらい、セキュリティチェックを受けて搭乗口へ。愛宕中学校もまた一緒の飛行機だ。愛宕中学校とは大阪城、ＵＳＪと３日目の行動はまるかぶりだった。愛宕中の先生と「阿賀津川と愛宕だったら、一緒になっても何も心配はないですね。」という話をした。

空港へ着くと、小林先生と友田さんが出迎えてくれた。「山へ帰るぞ！」と生徒たちに声をかけ、バスに乗り込む。バスの中では興奮が冷めやらないのか、おしゃべりがとめどなく続く。バスの中でＡさんに「関西と新潟の空気は違うかい？」と聞くと、「先生、しおりのあるあるですか？」と答える。しおりをよく読んでくれていたんだね。ありがとう。

阿賀津川中学校に到着したのは２１：３０。たくさんの保護者の方が迎えに来てくれていた。解散式の中で、校長先生が「たくさん語ってください。」と言っていた。その通りである。お家の人は我が子がどんな３日間を過ごしてきたのか知りたいのだ。その思いに応えてもらいたい。

３年生がおそらく家に着くだろう時間（１０：３０）まで学校で待機をし、先生方も自宅に向かった。勝見先生だけは３泊目の修学旅行を楽しんだようだ。今回は、反省点よりも収穫が多かった修学旅行であった。３年生の成長が見てとれた。

無事に３日間の行程を終えることができた。全員で行くことができて、無事に全員が帰ってくることができたことがよかった。本当によかった。解散式での顔を見ていたら、ちょっぴり出発前より大人になっていたような気がする。

今日からは通常の学校生活が始まった。また色々なことに頑張ろう。楽しかったね。

（真庭　直）

来週の予定

給食当番のみなさん、今日だけご苦労様でした。エプロンの持ち帰りです。

日	行事など	１限	２限	３限	４限	給食	５限	６限	バス
１３日（月）	WEBテスト（数） 議案書真偽	月１	月２	月３	月４	○	月５		１８：００
１４日（火）	WEBテスト（英）	火１	火２	火３	火４	○	火５	火６	１８：００
１５日（水）	中教研総会	水１	水２	水３	水４	○			１３：４０
１６日（木）	歯科検診	木１	木２	木３	木４	○	木５	木６	１８：００
１７日（金）	SC着任式	金１	金２	金３	金４	○	金５	金６	１８：００

今週の名言

「ストロベリートーク」 小田誓也